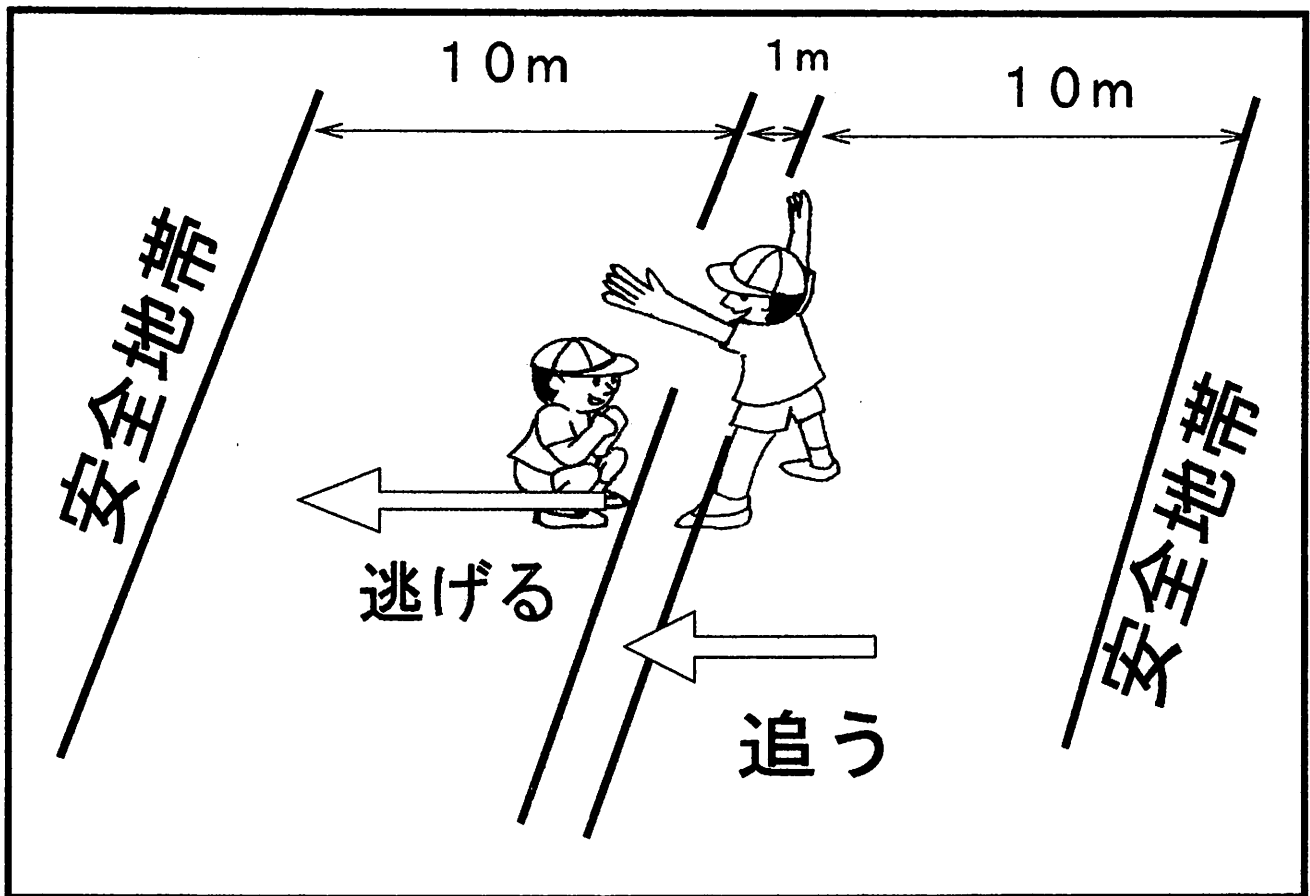


## B1-ジャンケン<sup>お</sup>追いかけ鬼<sup>おに</sup>



### <やり方<sup>かた</sup>>

- 体<sup>からだ</sup>ジャンケンをして、負<sup>ま</sup>けた人<sup>ひと</sup>は、安全地帯<sup>あんぜんちたい</sup>に逃<sup>に</sup>げます。勝<sup>か</sup>った人<sup>ひと</sup>は、負<sup>お</sup>けた人を追<sup>お</sup>いかけます
- 安全地帯までにタッ<sup>か</sup>チできたら、追<sup>お</sup>いかけた人<sup>ひと</sup>の勝<sup>か</sup>ち。逃<sup>に</sup>げた人<sup>ひと</sup>がタッ<sup>か</sup>チされずに安全地帯に逃<sup>に</sup>げ込んだら、逃<sup>に</sup>げた人<sup>ひと</sup>の勝<sup>か</sup>ち

## B1-ジャンケン追いかけ鬼

- ・見て→「追う、逃げる」の判断→走るの3段階の運動
- ・瞬発力も養え、くり返せばかなり反応が早くなる
- ・色々な距離で試しながら行うのがよい

### <留意点>

- ・センターラインから安全地帯までは、10m程度とし、ジャンケンをする時は、2人の間を1m程度にする。また、お互い正面を向いて行う
- ・安全地帯には、足が入ればよい
- ・はじめは、指導者のかけ声で一斉に行い、慣れてきたら子ども同士で行ってもよい
- ・追いかけることに夢中になって、両方でぶつからないよう、十分指導する
- ・追いかける方は、体に軽くタッチし、押したり突き飛ばしたりしないよう、指導する